

# 道の駅「みなべうめ振興館」 「紀州備長炭記念公園」 周辺の見どころ



# 道の駅全体マップ



## ～道の駅「みなべうめ振興館」「紀州備長炭記念公園」周辺の見どころ～

**① 高機能炭和歌山研究所**  
 梅産業に伴う、梅の種、梅を剪定（せんてい）した枝などを燃えないよう（無機炭）加工して微生物が棲みやすい環境を作って無農薬、無化学肥料で、生物多様性の視点と世界農業遺産『みなべ・田辺の梅システム』を結びつけ、より持続可能な環境を作り継承する価値を高めています。

**② 須賀神社**  
 うめ振興館の南部川を挟んだ向こう側の少し上流にある立派な神社です。毎年10月9日には例祭が執り行われ、境内本殿前に馬の像がある通り、競馬・やぶさめ・山車・獅子舞・笠鉾等が今も奉納され、大変な賑いを見せます。

**③ 南部梅林（1月下旬～3月上旬）**  
 南部川に沿って広がるなだらかな山の斜面に見渡す限りの梅林が続いています。『一目百万、香り十里』と称される程、名実ともに日本一を誇る南部梅林です。

**④ かえる橋**  
 印南町のシンボル『かえる橋』は、国道、高速、電車からも見えます。欄干の上や間に、いろんなタイプの「かえる」がいっぱい！！

**⑤ 切目王子**  
 熊野九十九王子の中でも社格の高い五体王子で、境内には県指定の天然記念物で樹齢約300年のホルトノキがそびえたっています。  
 後鳥羽上皇が歌会を催し、11人の方々が懐紙に感慨の和歌をしたためた「切目懐紙」は国宝となっています。

**⑥ 海辺の熊野古道（岩代・千里）**  
 熊野古道の中で、紀州の海を最も身近に感じられるこのコースを「海辺の熊野古道」と呼びます。岩代王子から千里王子までは、古道中唯一の浜つたいの道を歩いたところで、千里ヶ浜は、「伊勢物語」や「枕草子」でその美しさを讃えられました。

**⑦ 小目津公園の「さざれ石」**  
 小津目公園内には、たくさんの小石が集まって出来た様な、不思議な石が置かれています。この石は、国歌「君が代」にも歌われている「さざれ石」です。約700～800万年前に堆積した「目津礫層」が崩れた石と伝えられています。